



公立病院の果たすべき役割は、宮城県地域医療構想を踏まえたものでなければならないことから、平成19年12月に示された「公立病院改革ガイドライン」において一定の成果を上げていますが、依然として医師不足などの厳しい環境が続いており、安定した診療体制を確保できていない病院も多くあります。さらに人口減少や家族の変化、介護支援サービスなどが急速に進展する中で、医療需要が大きく変化することが見込まれ、地域ごと(大崎栗原圏域)に公立・民間医療機関の連携のもと、適切な医療提供体制の再構築が必要となりました。

この10年間の「経営効率化」、「再編・ネットワーク化」、「経営形態の見直し」に加え「大崎・栗原地域医療構想を踏まえた医療機関ごとの役割の明確化」の4つの視点に立ち、これからの10年間、持続可能な診療体制を確保できるよう策定されました。

大崎市は、四病院一診療所の医療体制の下、より一層、医療を中心とした地域福祉サービスや健康づくりの保健活動の連携充実が求められます。



話題を追って  
新大崎市民病院改革プラン

| 役割   | 市人口予測   | 平成28年度(2016)                                      | 平成30年度(2018)                                      | 平成31年度(2019)                                      | 平成32年度(2020)                                      | 平成33年度(2021)                             |
|--|---|---|---|---|---|--|
|  |   | 病院事業  | 740床  | 678床  | 678床  | 678床                                     |
| <b>高度急性期・急性期機能</b><br>◇本院の役割<br>大崎・栗原医療圏における高度急性期・急性期医療の役割を中心に担う。<br>●地域医療支援病院<br>●地域がん診療連携拠点病院<br>●三次救急医療<br>◇分院・診療所の役割<br>回復期・慢性期医療を中心に、地域の「かかりつけ医」機能を担う。<br>在宅医療における急変患者の入院が必要となる場合の病床を確保する。<br>●在宅医療介護の柱である地域包括ケアシステムと連携し在宅復帰を支援する<br>●救急告示医療機関として、本院救命救急センターの後方支援を行う<br>●在宅復帰を支援するため、回復期としてリハビリ機能の充実<br>◇在宅医療介護の役割<br>在宅医療は、居宅、老人ホーム、介護老人保健施設等、病院・診療所以外で提供される医療介護サービス<br>●在宅医療介護に移行する制度と連動した内容で、公立病院改革プランを策定し、病院と在宅医療介護が連携し地域で安心して生活できるよう対応する | <b>本院</b><br>500床<br>・一般病棟 (ICU含む)<br>・感染症病棟<br>・結核病棟                   | 500床<br>・一般病棟 (ICU含む)<br>・感染症病棟<br>・結核病棟          | 500床<br>・一般病棟 (ICU含む)<br>・感染症病棟<br>・結核病棟          | 500床<br>・一般病棟 (ICU含む)<br>・感染症病棟<br>・結核病棟          | 500床<br>・一般病棟 (ICU含む)<br>・感染症病棟<br>・結核病棟          | 500床<br>・一般病棟 (ICU含む)<br>・感染症病棟<br>・結核病棟 |
|  | <b>鳴子温泉分院</b><br>130床<br>・一般病床 50<br>・療養病床 80 (回復リハ 40、医療療養 20、介護療養 20) | 80床<br>・一般病床 40<br>・療養病床 40 (回復リハ 40)             | 80床<br>・一般病床 40<br>・療養病床 40 (回復リハ 40)             | 80床<br>・一般病床 40<br>・療養病床 40 (回復リハ 40)             | 40床<br>・一般病床 40 (地域包括ケア 10)<br>新築立替               |  |
|  | <b>岩出山分院</b><br>40床<br>・一般病床 40   | 40床<br>・一般病床 40 (地域包括ケア 10)<br>リハビリ室増築整備          | 40床<br>・一般病床 40 (地域包括ケア 10)<br>リハビリ室供用開始          | 40床<br>・一般病床 40 (地域包括ケア 10)                       | 30床<br>・一般病床 30 (地域包括ケア 10)                       |  |
|  | <b>鹿島台分院</b><br>70床<br>・一般病床 40<br>・療養病床 30 (医療療養 18、介護療養 12)           | 58床<br>・一般病床 40 (地域包括ケア 10)<br>・療養病床 18 (医療療養 18) | 58床<br>・一般病床 40 (地域包括ケア 10)<br>・療養病床 18 (医療療養 18) | 58床<br>・一般病床 40 (地域包括ケア 10)<br>・療養病床 18 (医療療養 18) | 58床<br>・一般病床 40 (地域包括ケア 10)<br>・療養病床 18 (医療療養 18) |  |
| <b>田尻診療所</b><br>0床   | 0床  | 0床  | 0床  | 0床  | 0床  |  |

高度急性期・急性期機能  
回復期・慢性期機能  
在宅医療介護



## 大崎ウォッチング

### ～ほっかぶり市～

「ほっかぶりJAPAN」は、東日本大震災の翌年、平成24年11月に、岩出山の若い精鋭農家有志により発足しました。生産物の「売り買い」だけの場ではなく、「生産物・作る人・原風景」をモットーとして田舎発信しています。

人と人がつながる場として育てたいとの思いから、ドレスコードにしているのが「ほっかぶり」。出会ってお互いにほっかぶりのままで挨拶を交わすコミュニケーションを大事にしています。

毎月1回の定期市を、地元岩出山各地を拠点に「ほっかぶりJAPAN」主催で開催しています。出店者も岩出山以外のモノづくり仲間が増え、さらに、お客様も仙台圏域から毎回楽しみに来てくれる方もいるそうです。口コミで広がった「ほっかぶり市」は岩出山の旗印として定着し、これに伴い、地域も人も元気に活動しています。



### ほっかぶりJAPAN

〒989-6412  
大崎市岩出山下野日字安沢100-2  
問い合わせ先/0120-72-0896(彦坂)



京都冷泉家・為人様との懇談



二本松女性起業セミナー講師湯原中谷健太郎氏と共に

### さとう仁一連合後援会会長 遠澤啓子

空梅雨かと思いきや8月上旬まで梅雨模様でした。暑中お見舞い申し上げます。  
さとう仁一の議員活動に、いつも変わらぬご支援を賜り心より感謝申し上げます。入院療養に際しましては、大変ご心配をおかけいたしました。退院後は以前と変わらぬ行動となり、精力的な議会活動を行っております。ご安心頂きたいと思っております。皆さんともに見守っていきたいと思っております。有難うございます。

暑さにも負けずに、皆様にはいかがお過ごしでしょうか？  
日野原重明聖路加国際病院名誉院長先生が7月18日に105歳で人生の終焉を迎えられました。惜しみてなりません。生涯現役のまま死去の意志とおりの生涯でした。かつてご講話を聴講する機会に恵まれ、「武器には武器、暴力には暴力で応じる悪循環を断ち切り、戦争ではない話し合いで物事を解決する、根強い精神が必要」また、「知性こそ人間の授かった宝である」と話されておりました。  
「碩学の長老」として、多くの国民皆様から敬愛された日野原先生に心からご冥福をお祈り申し上げます。残暑厳しい折、皆様のご健康・ご多幸をご祈念いたします。

### 大崎市議会議員 さとう仁一

### 後援会会長挨拶

### さとう仁一挨拶